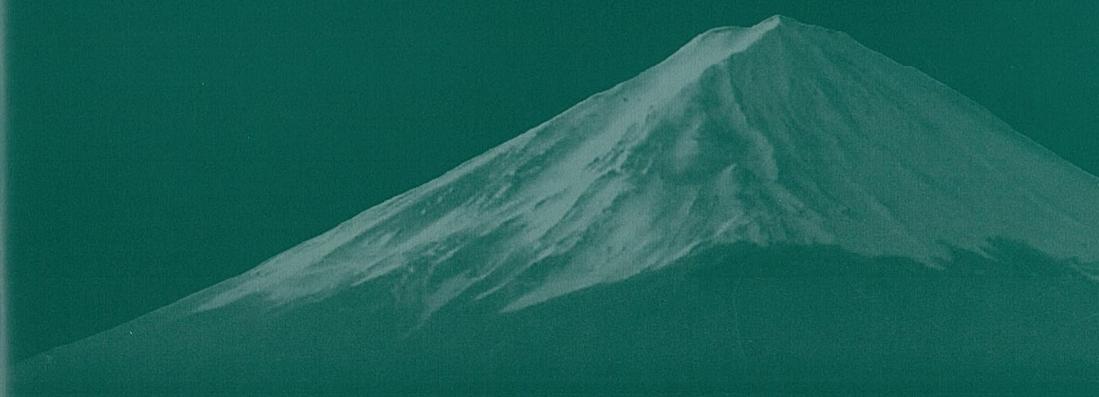


SEINAN CHANTEURS

創立56周年

西南シャントゥール

第33回定期演奏会



2010

SEINAN CHANTEURS ANNUAL CONCERT

平成22年度福岡市民芸術祭参加

《創立56周年》

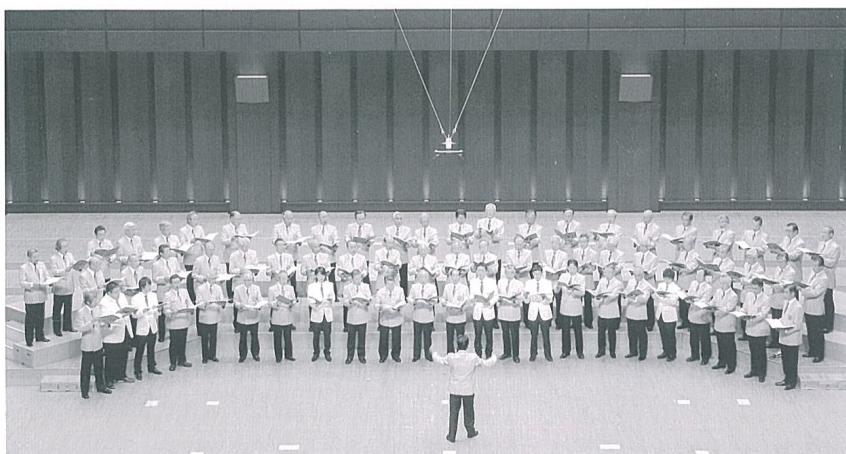
## 西南シャントゥール第33回定期演奏会 SEINAN CHANTEURS ANNUAL CONCERT 2010

《賛助出演》

西南グリーOBメンバーズ'80～

2010年12月4日(土) 14:00開演  
アクロス福岡シンフォニーホール

主催/西南シャントゥール 共催/西南学院大学同窓会、西南学院グリークラブOB会  
後援/(財)福岡市文化芸術振興財団・福岡市・福岡市教育委員会・福岡音楽団体連絡会・福岡県合唱連盟・西日本新聞社



「2009定期演奏会」より



西南シャントゥール  
会長／的野 恒一

師走に入り何かとお忙しいところ、私ども西南シャントゥール「第33回定期演奏会」にご来場頂きまして誠に有難うございます。

今年は西南学院グリークラブOBのみでの演奏会が実現しました。今回の賛助出演のステージはOBの80期～00期代の若手世代が創ってくれました。力強いアカペラの響きをご堪能頂けると思います。

第1ステージは、高嶋君の指揮者としてのデビューとなり、これからシャントゥールを担う指揮者のひとりとなります。宜敷くお願ひ致します。

又、現役グリークラブの部員も今年8名となり、少ない乍ら独自の活躍を始めています。本日の第3ステージには7名が上がり、共に歌いますので声援宜しくお願ひします。尚このステージでは3名のアーティストの応援を得て、懐かしいJazzのスタンダードナンバーより7曲を歌います。お楽しみ下さい。

本日のラストステージは、男声合唱組曲「富士山」に挑戦します。賛助出演の18名のOBと一緒にシャントゥールとしては全曲初めての演奏となります。この名曲の演奏にあたって、作曲の多田武彦氏をご招待することで氏と折衝を続けてまいりましたが、本プログラムに寄稿頂いた事情により残念乍ら実現叶いませんでした。しかし、代わりに私共の為に、新しい組曲を書いていただく事となりました。中原中也の詩による男声合唱組曲です。再来年の「第35回定期演奏会」には多田氏自身の指揮でその曲が初演される予定です。

本日の演奏会が皆様にとりましてお寛ぎのひとときになれば幸いです。

最後になりましたが、本演奏会を開催するに当たり多くのご支援とご協賛を頂きました。感謝申し上げます。有難うございました。



西南学院グリークラブOB会  
会長／刀根 亨一

混沌とした昨今の世情にも拘らず、本日も沢山のお客様にご来場賜りまして心から感謝申し上げます。どうぞ師走のこのひと時を私共の演奏でお楽しみ下さい。

今日は日頃仕事で忙しい若手OBがグリークラブ復活の願いを込めて特別出演をする事になりました。図らずも、世代の違う4人の指揮者が、それぞれ趣の異なる曲をお聴かせするという興味深いステージ構成になっております。

この試みは高齢化を懸念するシャントゥールにとって変革の糸口になるかも知れません。

片や東京ではグリークラブ東京OB会が、福岡女学院OG合唱団コール・クレルとの交換演奏会を始めました。両合唱団の交流発展を楽しみに見守りingといった思いです。

さて肝心の現役グリークラブですが、この春にお迎えした指揮者・江川靖志氏の優れた指導により、ここ半年のうちに長足の進歩を遂げました。加えて女子一年生ピアニストのサポートが彼等を大いに鼓舞しているようです。

僅か8人のメンバーですが、12月15日、西南コミュニティーセンターホールに於いて、初の独立コンサートを開くことになりました。その心意気に温い拍手を送ってやって下さい。

シャントゥールとグリークラブの一層の発展を期待しつつ、皆様の変わぬご鞭撻をお願い申し上げます。

### 西南グリー完全復活の起爆剤に。

西南グリーOBメンバーズ'80～ 指揮者 井手 敏彦

今年4月。その頃はまだ名前のないこの合唱団の初顔合わせが大学内の西南会館がありました。出席したメンバーは15～6名くらいでしたか。三々五々みんな集まるだろうから、ともかく何か歌っていようかと手元にあった愛唱曲「君といつまでも」や「見上げてごらん夜の星を」を歌ってみました。が…。声が出ないのです。学生時代ならいつでもどこでも歌えていた曲なのに、みんな楽譜から目が離せないでいるのです。それも目を細めて、50cm以上離して…。(老眼進行!)卒団して30年の年月は、カラオケとはちょっと質を異にする合唱の声も歌の記憶も完全にサビつかせてしまったのでしょうか。

それから半年。月2回のリハビリと称する練習を施し、なんとかステージに立てるまでに回復(?)いたしました。時には、出張と称して高い航空券をはたいて関西や関東から練習に参加してくれる猛者もいて、熱き西南グリースピリットを我々に与えてくれました。

本番当日まで全員が揃うことがないという致命的な不安を抱えてはいますが、参加者全員、現役時代を思い出し楽しみながら、併せて西南グリー完全復活!を願う気持ちを歌い上げたいと思います。



## [ I 部]

## I. 男声合唱とピアノのための『新しい歌』 作曲/信長貴富

指揮: 高嶋裕二  
ピアノ: 植村和彦

- 新しい歌  
(作詩: フェデリコ・ガルシア・ロルカ 訳詩: 長谷川四郎)
- うたをうたうとき  
(作詩: まど・みちお)
- きみ歌えよ  
(作詩: 谷川俊太郎)
- 鎮魂歌へのリクエスト  
(作詩: ラングストン・ヒューズ 訳詩: 木島 始)
- 一詩人の最後の歌  
(作詩: ハンス・クリスチャン・アンデルセン 訳詩: 山室 静)

## II. 《賛助出演》

西南グリーOBメンバーズ'80～のための  
ミュージックストーリー  
「海・その愛」～古今東西・舟歌メドレー～

指揮: 井手敏彦

- Sailing, Sailing (Sea Shanty 編曲: 福永陽一郎)
- Shenandoah (Sea Shanty 編曲: A. パーカー & R. ショウ)
- 最上川舟唄 (山形県民謡 編曲: 清水脩)
- 斎太郎節 (宮城県民謡 編曲: 竹花秀昭)
- 海・その愛 (作詞: 岩谷時子 作曲: 弾厚作 編曲: 井手敏彦)

—— 休憩 ——



## [ II 部]

## III. Jazz &amp; Standard の贈り物

編曲/福田 豊  
ピアノ・アレンジ/中村寛子

指揮: 佐藤棟也

ピアノ: 中村寛子

コントラバス: 時津りか

パーカッション: 高松聰美

- What A Wonderful World

(Words by G. D. Weiss ; music by G. Douglas)

- South Of The Border

(Words by J. Kennedy ; music by M. Carr)

- Moonlight Serenade

(Words by M. Parish ; music by A. G. Miller)

- Amapola

(Words by J. M. LaCalle ; Eng. lyrics by A. Gamse ; music by J. M. Lacalle)

- Tennessee Waltz

(Words by R. Stewart ; music by P. W. King)

- Too Young

(Words by S. Dee ; music by S. Lippman)

- Smile

(Words by J. Turner & G. Parsons ; music by C. Chaplin)

## IV. 男声合唱組曲『富士山』

作詩/草野心平

作曲/多田武彦

指揮: 徳永和彦

- 作品第壹

- 作品第肆

- 作品第拾陸

- 作品第拾捌

- 作品第貳拾壹 (宇宙線富士)



## II 《贊助出演》

### 西南グリーOBメンバーズ'80～のためのミュージックストーリー 「海・その愛」～古今東西・舟歌メドレー～

我々80-90-00期卒業生。西南グリーを巣立って長い者で30年が過ぎた。しかし、どれだけ年月が経っても、どこに居ても西南グリーを愛する気持ちは変わらない。

そして、今回の集まりで久し振りに思い出した。腹筋強化のための“船漕ぎ”や響きを見つけるための“千本ハミング”。練習に遅れれば皆の前で反省させられたこと等々。

そんなグリー時代の経験のお陰で、声はでかいし、時間には厳しい。これは社会の中堅となった今でも大いに役立っている。現在の自分を育んでくれた西南グリーに感謝の気持ちでいっぱいである。

我々のほとんどが“歌を忘れたカナリア”状態であったが、歌声を合わせる楽しさ、美しいハーモニーを生み出せた時の喜びを今一度思い起こし、共に青春を燃やした西南グリーに対する熱い思いと、グリーの完全復活を願う気持ちを歌に託してみたい。

演奏する曲は5曲プラスα（何を歌うかはお楽しみに！）。学生時代の持ち歌であったSea Shantyと日本民謡を中心に曲と曲をナレーションで繋いでいくこのステージのテーマは「海・その愛」。我々にとってはグリーに対する永遠の愛を意味します。

#### ‡ Sea Shanty から

Sea Shantyとは、帆船時代の欧米の船乗りの労働歌。船内作業や団欒の時に海の男達が歌った歌です。

#### ● Sailing, Sailing

勇壮な船出の歌で、Sea Shantyの中で最も有名な曲といわれる。

波瀾る大海原を超えて出帆だ／これから先、幾多の嵐にあおうとも／  
われわれ水兵は再び故郷に帰るんだ／さあ錨を上げろ、追い風が吹いてきた。

#### ● Shenandoah

ふる里のシェナンド河から、心ならずも遠く離されてしまった人達の深い悲しみを表した歌でメロディーの美しい曲です。

おお、シェナンドア　おまえの流れる音を聞きたい／逆巻く河よ。  
おお、シェナンドア　おまえの流れる音を聞きたい／広いミズーリ川を横切り／  
われわれはおまえから遠く離れていく。

#### ‡ 日本民謡から

各地の日本民謡の中から本日のテーマに相応しい、海や川にちなんだ曲を選びました。

#### ● 最上川舟唄

山形県民謡。清水脩編曲。編曲というより完成度の高い合唱作品として、国内はもとより来日する海外の合唱団にも日本を代表する民謡レパートリーとして演奏されている。

#### ● 斎太郎節

宮城県民謡。竹花秀昭編曲。松島湾一帯でカツオ漁の大漁祝い唄として歌られてきた。大正～昭和にかけて後藤桃水が他の唄とともに「大漁唄い込み」としてまとめ、全国的に有名になった。



指揮／井手敏彦 Ide Toshihiko

1959年(昭和34年)長崎県波佐見町生まれ。西南学院大学83期・経済学部卒。兄が西南グリー(74期)出身で、小5の時に聴いた兄達の合唱に衝撃を受け、グリーをするために迷わず、大学は西南学院大学へ。2年生で副指揮者兼セカンドテナーのパートリーダーを任され、3年生の冬、正指揮者に就任。第2回アメリカ演奏旅行を成功させる。卒業後、郷里に帰り小学校教師に。ほぼ同時期に地元の児童合唱団の指導を任される。次いで、男声合唱団「オールドダックス」、「波佐見混声合唱団」の指揮者も引き受け、3つの団とも20数年来指導を続けていた。学生時代から多田武彦作品をこよなく愛し、オールドダックスの定期演奏会では必ず“多田武(タダタケ)”をプログラムに入れる。今年1月組曲「吹雪の街」を引っ下げて、北海道小樽へ演奏旅行を行った。この組曲の初演をした小樽商科大学グリーのOBが母体となった小樽市役所グリーとのジョイントを行った。翌日、実際に忍路(おしょろ)に赴き、今も名残をとどめた“寂れた家並み”を通り、“忍路の灣”を目の前にこの「吹雪の街」を歌った。

特技は様々なジャンルの曲を合唱曲にアレンジすること。編曲数は150曲を超える。

#### 西南グリーOBメンバーズ'80～について

西南学院グリークラブのOB合唱団といえば誰もが「西南シャントワール」と答えられ、長年にわたり数少ない一般男声合唱団として活動してまいりました。大学卒業後は大半が企業に就職し福岡の地を離れますが、シャントワールのメンバー維持も、限られた福博勤務のOBや定年退職して帰郷したOBを中心に行なわざるを得ないため色々な難しさを伴います。メンバーの高齢化もこれらの問題のひとつといえましょう。

昨年、西南学院グリークラブは創立90周年という大きな節目を迎え、9月19日に大学チャペルにおいて全国から馳せ参じた300名のOBにより、記念の「グリークラブフェスティバル」を開催いたしました。フェスティバルは戦前卒業のOBから現役世代までを、10年単位の卒業世代別に俄か合唱団に仕立て、8つの世代別合唱団が3時間にわたる、大男声合唱の祭典を行いました。その中で1980年代、1990年代以降の若手(?)OBによる演奏が、俄か仕立てとは思われない歌い振りで聴衆に好評を得ました。そこで、グリークラブOB合唱団は現在はシャントワールだけですが、それを引き継いでいる若手(?)の元気なOBが多数いることを皆様方にアピールし、ご安心もいただきたいと、「西南グリーOBメンバーズ'80～」合唱団として、1980年以降にグリーを卒業したOBばかりで参集し、本日の西南シャントワール第33回定期演奏会に贊助出演させていただくことになりました。シャントワールの老練な合唱とは多少赴きを異にする、私ども若手OBの合唱をお楽しみいただければ幸いです。

1st Tenor	2nd Tenor	Baritone	Bass
木下 俊彦	白土 典文	伊徳 諭	磯貝 豊
岡田 和夫	上田 信孝	谷野 繢	岩崎 嘉範
渡辺 秀樹	井手 敏彦	川原 好治	朔 正毅
中竹 茂美	池田 健二	藤 寿	中野 裕之
安倍 伸一	田中 穂積	保家 大司	野間 利博
村上 正道	古瀬 哲也	山崎 淳司	宮地 純
藤島 整	宮崎 和善	佐野 将史	綾部 武利
石丸 貴康	篠原 隆盛		福田 誠司
内田 圭一	原 裕一		岡 潔
諸熊 敏明	小田 泰資		杉岡 勝
野田 誠一	大山 輝久		田村 祐一
平田 雄嗣	日下部一徳		佐野 直人
			矢野 浩
			高田 浩光
			三原興一郎
			杉谷 大輔



福岡の練習時に



東京OB会での練習

### III Jazz & Standard の贈り物

“Jazz”は19世紀末から20世紀初頭に、ニューオリンズを中心とするアメリカ南部で労働者階級の中から自然発生的に発祥したもので、それがシカゴ、ニューヨークへと伝播していく、様々な音楽要素を含有する事で形成され発展したものです。黒人靈歌、ブルース、ラグタイムなどを母体としており、音階も普通のメジャースケールを少し変えた、いわゆるブルーノートというスケールが多く使われています。リズムでもジャズの重要な要素となるアフタービートとシンコペーションがジャズをさらにジャズっぽく響かせています。又、ジャズにかかせないものとして即興演奏すなわちアドリブも重要な要素です。今日はピアノの中村寛子氏、コントラバスの時津りか氏、パーカッションの高松聰美氏と一緒に演奏致しますが、トリオバンドとしてのアドリブも楽しんで頂ければと思っています。

今日演奏致します7曲は、いずれも皆様耳にした事があり、又口ずさんだ事があり、又何らかの思い出と共に聞く曲ばかりだと思います。今日は“Jazz & Standard”的息吹を皆様にお伝え出来る様心を込めて歌いたいと思います。

それでは西南グリーOB 福田 豊氏編曲、中村寛子氏ピアノ編曲で どうぞお楽しみ下さい。  
(記・指揮者／佐藤棟也)

#### 編曲者／福田 豊 Fukuda Yutaka

修猷館高校卒業、1961年西南学院大学商学部卒業。グリークラブ在籍2年生時、同級生とカルテットを組み、学園祭、夏季演奏旅行、米軍白木原ベース、ゼブラ将校クラブ等のステージで歌う。卒業後はコーラスチーム メロトーンズを結成し、NHK福岡TV、地元ラジオ局 RKB、KBC等に出演する。シャントウール在籍中にシンギング クリスマス、ミッチミラー愛唱歌、フォークソング、ボビュラーソング等のステージの編曲を担当する。元・西南シャントウール団員。



#### ピアノ／中村寛子 Nakamura Hiroko

福岡教育大学大学院修了。  
ピアノを原田吉雄氏、作曲を内山信氏に師事。  
1990年より「すみれ会」を主宰、音楽コンクールや演奏会を多数開催している。  
現在、麻生医療福祉専門学校(福岡校、北九州校)講師、ヤマハグレード試験官、ヤマハ上級講座講師、福岡市小学校専科非常勤講師、等多方面で活躍中。



#### コントラバス／時津りか Tokitsu Rika

福岡県出身。16歳よりコントラバスを始める。福岡第一高等学校芸術科音楽コースを卒業。99年に東京芸術大学を卒業。02年、デビューリサイタルを開催。  
コントラバスを、吉浦勝喜、永島義男、ツォルト・ティハイの各氏に師事。  
現在、ソロ、室内楽、オーケストラなど多方面で活躍中。  
大分県芸術文化短期大学非常勤講師、活水女子大学非常勤講師、ichiko グランシアタ ジュニアオーケストラ講師、九州管楽合奏団員、九州室内管弦楽団メンバー、リベルタ主宰、ケーズ・アート・オフィス講師、Isaacコンサートメンバー、Isaac講師、九州ベースクラブ会員。



#### パーカッション／高松聰美 Takamatsu Satomi

北九州市門司区在住。山口芸術短期大学打楽器専攻卒業。  
北九州市消防音楽隊を経て、現在多数のコンサートに出演。吹奏楽部の指導やコンクールの審査員を務める。音楽教室 bocco を主宰し、後進の指導を行なう。  
北九州音楽協会理事、田川音楽協会、日本木琴協会会員。  
春日市ふれあい文化センター音楽家派遣事業「音楽の玉手箱」登録音楽家。  
麻生医療福祉専門学校非常勤講師。

### What a Wonderful World 何と素晴らしい世界

60年代のアメリカは公民権運動やベトナム戦争で荒廃したムードに支配されていた。そこで“戦争のない平和な世界”をテーマにして「何と素晴らしい世界なんだろう！」というこの曲が生まれ、レイ・アームストロングによって世界に広まった。

木々の緑、赤い薔薇も見える、  
私達に向けて咲き誇っている  
私は思うのだ「何と素晴らしい世界だ」と。

青い空と白い雲が見える、  
輝く佳き日、聖なる闇夜、  
私は思うのだ「何と素晴らしい世界だ」と。

虹の色は空に掛かりとてもきれい、  
通り過ぎる人々の顔にも映えて。  
友達同士握手を交わし「こんにちは」、  
でも、ほんとのなかみは「すぎだよ」

赤ちゃんの泣声を聞き、成長をみまもる。  
私の知識をはるかに超えて賢くなるだろう。  
私は思うのだ「何と素晴らしい世界だ」と。

(詩・鈴木 勘)

### South of the Border 国境の南

作詞のジミー・ケネディの妹が旅行先のカリフォルニアから“今日は国境の南のメキシコに行きました。”と手紙に書いて来たのを読み、ヒントを得て作られた曲。カントリーとラテンが微妙に入り混じった様な曲でメキシコ娘との恋をロマンティックに歌う曲。

ジーン・オードリーやフランク・シナトラによりヒットした。

South of the border, down Mexico way.  
That's where I fell in love,  
where stars above came out to play.  
And now as I wonder, my thoughts ever stray.  
South of the border, down Mexico way.

She was a picture, in old Spanish lace.  
Just for a tender  
while I kissed the smile upon her face  
For it was fiesta, and we were so gay.  
South of the border, down Mexico way.

Then she sighed as she whispered Ma-na-na,  
Never dreaming that we were parting,  
And I lied as I whispered Ma-na-na,  
For our tomorrow never came.  
South of the border, I rode back one day.

Then in a veil of white by candle-light,  
she knelt to pray.  
The mission bells told me, that I mustn't stay.  
South of the border, down Mexico way.

国境の南、はるかメキシコ。  
私が恋に落ちたところ、  
夜空で星が戯れていたところ。  
しかし何故か、今や、想いは千路に乱れる。  
国境の南、はるかメキシコ。

あの娘はスペイン風のレースで縁取られた  
一幅の絵だった。  
ほんのご挨拶に、彼女の笑顔に口づけをした、  
お祭りで、みんなはしゃいでいたのだから。  
国境の南、はるかメキシコ。

彼女はため息をついてマニャーナと囁いた、  
別れゆくことなど思いもせずに、  
そして私は偽った、マニャーナと囁いて、  
二人の明日はもう来なかつたのに。  
国境の南、ある日馬に乗って帰って行った。

それから彼女は白いヴェールに身を包み  
蠍燭の光のそばで、ひざまづき祈った。  
教会の鐘が鳴った、私に立出をうながす如く。  
国境の南、はるかメキシコ。

## Moonlight Serenade ムーンライト セレナーデ

グレン・ミラー楽団のバンドテーマとして有名。アメリカ第2の国歌と言われる程愛されている名曲。1939年グレン・ミラー作曲。グレン・ミラーはベニー・グッドマンと共に社交ダンスと結びついた“スウィング・ジャズ”を定着させた。グレン・ミラーは他にも“茶色の小瓶”“イン・ザ・ムード”など多くの名曲を送り出している。

I stand at your gate, and the song that I sing is of moonlight.  
I stand and I want for the touch of your hand in the June night.  
The roses are sighing a moonlight serenade.

あなたの家の前に立ち、私が歌うのは月の光の歌。  
6月の夜、あなたに触れてもらいたくて立って待っている、  
薔薇の花束となりムーンライトセレナーデを囁きながら。

The stars are aglow, and tonight how their light sets me dreaming ! 星は輝き、今夜その光は私を夢心地にさせる。  
My love do you know that your eyes are like stars brightly beaming?

愛する人よ、分かっているかな、君の瞳は光り輝く星のようなのだ。  
ムーンライトセレナーデを君に歌って聴かせよう。

Let us stray till break of day, in love's valley of dreams.  
Just you and I, a summer sky, a heavenly breeze kissing the trees.

夜が明けるまで一緒に迷子になろう、夢の中の愛の谷間で。  
二人っきりで、夏の空の下、素敵な風が木々をざわめかせる。

So don't let me wait, come to me tenderly in the June night.  
I stand at your gate, and I sing you a song in the moonlight.  
A love-song, my darling, a moonlight serenade.

だから私を一人にしないで、6月の夜そっと迎えに出て来てよ。  
あなたの家の扉の前で、月の光に照らされて私は歌うのだ、  
だいすきなひとに、ラヴソングを、ムーンライトセレナーデを。

## Amapola アマポーラ

スペインで生まれ、アメリカに移住したジョセフ・アカジュが作曲した。Amapolaとはスペイン語で“ひなげしの花”的事であり、可愛く優しい乙女を思う情熱的な曲である。多くの人がカバーしており、日本でも山下達郎バージョンが有名。

Amapola, my pretty little poppy,  
You're like that lovely flow'r so sweet and heavenly

アマポーラ、私のかわいいヒナゲシよ、  
おまえは甘美で素晴らしいあの花のよう。

Since I found you, my heart is wrapped around you.  
And loving you, it seems to beat a rhapsody.

おまえを見つけてから、私の心はお前を思えばかり  
お前を愛して、心はラブソディーを奏でる。

Amapola, my pretty little poppy  
must copy its endearing charm from you.  
Amapola, How long to hear you say,  
"I love you."

アマポーラ、私のかわいいヒナゲシよ、  
あの花はおまえから可愛い魅力を写し取ったにちがいない。  
アマポーラ、私は待ち焦がれているのだ  
おまえが「好きよ」と言ってくれるのを。

## Tennessee Waltz テネシー・ワルツ

カントリー畠のミュージッシャン、ピー・ウイー・キングが同じバンドだったレッド・ステュアートとの共作。1950年パーティ・ページのオーバーダヴィングによる彼女自身の二重唱が大衆の関心をひき、世界的なヒットとなった。1956年テネシー州の州歌となった。

I was waltzing with my darlin'  
to the Tennessee waltz.  
When an old friend I happened to see,  
Introduced him to my loved one,  
and while they were waltzing,  
My friend stole my sweetheart from me.

僕は「彼女」と踊っていたんだ  
テネシー・ワルツに合わせて。  
そのとき、昔の友達にたまたま会ったのさ。  
彼を「彼女」に紹介したら、  
二人はしばらく踊っていたけど、  
あいつは「彼女」を僕から盗って行ってしまった。

I remember the night and the Tennessee waltz  
Now I know just how much I have lost.  
Yes, I lost my little darlin',  
The night they were playing  
the beautiful Tennessee waltz.

忘れられない、あの夜とテネシー・ワルツを。  
そして今にして思う、如何に多くを失ったかを。  
そう、僕はかわいい「彼女」を失ったのだ、  
二人があの美しいテネシー・ワルツを  
踊っていたあの夜に。

## Too Young 若すぎるって

“本当の恋をするには僕らは若すぎると皆は言う。でもいつかそうでなかった事に気づくさ”という内容で、1951年ナット・キング・コールによって大ヒットした。作詞のディーが当時流行した“Young”という言葉を使用したのもヒットの一要因といわれる。

They try to tell us we're too young  
Too young to really be in love  
They say that love's a word  
A word we've only heard  
But can't begin to know the meaning of  
all this thing called love

And yet we're not too young to know  
This love will last though years may go  
And then someday may recall  
We were not too young  
as some was still and so  
Ah! then they'll know  
that we were not too young at all.

## Smile スマイル

チャップリンが1936年映画「モダンタイムズ」の為に自ら作曲した室内楽曲。'52に映画「ライムライト」に使用した後、「54年にターナーとパースンズが歌詞をつけた。甘くセンチメンタルな曲でいかにもチャップリンらしい雰囲気に満ちている。

Smile, tho' your heart is aching,  
Smile, even tho' it's breaking  
When there are clouds in the sky you'll get by.

If you smile through your fear and sorrow,  
Smile and may be tomorrow  
You'll see the sun come shining through

For you light up your face with gladness,  
Hide ev'ry trace of sadness,  
Altho' a tear may be ever so near,  
That's the time you must keep on trying,  
Smile, what's the use of crying ?

You'll find that life is still worth while,  
If you just smile.

大人は僕らに言いたがる、若すぎるって、  
若すぎてほんとの恋なんてできないって  
大人は言うんだ、恋って言葉  
聞きかじったにすぎないんじゃないとか  
それではその意味を知り始めることさえできないと  
恋と言われるもののすべてをね。

それでも、僕らは若すぎて分からぬってことはない  
この恋は何年経っても変わらずづくだらうし  
そしていつの日か思い出す  
僕らは若すぎたって事はなかったと。  
まだまだ駄目って云う人もいたけれど  
ああ、そのとき連中も分かるだろう  
僕らが若すぎるってことは全くなかったと。

笑顔で、たとえ心が痛んでも、  
笑顔で、たとえ失恋したとしても、  
空が雲に覆われようと 君はなんとか切り抜けられる

怖れ悲しみの中でさえ、笑顔でいれば、  
笑顔になれよ、そうすれば明日は  
またお日さまが輝くのが見られるよ

喜びで君の顔を輝かせれば  
どんな悲しみの跡も隠せるさ  
涙する事態が近づいてきても  
そのときこそ君の頑張り時で  
笑顔だよ、泣いて一体何になる？

人生まだまだ捨てたもんじゃないって分かるよ  
笑顔でいさえすれば。

(訳詩・鈴木 勘)

プログラム ノート

## IV 男声合唱組曲「富士山」

### ●作品「富士山」について

多田武彦氏の言葉から

処女作「柳河風俗詩」についての清水先生の講評は、別掲の通り概ね良かったが、ただ一つ、「この組曲は、歌い手の声域を気にし過ぎている。男声合唱曲は、もっとスケールの大きい、ダイナミックなものにしなければいけない」と厳しく忠告された。清水先生のこの薰陶に従って、昭和31年に作曲したのが組曲「富士山」である。当然当時のグリークラブ泣かせの作品となり、初演後は余り歌われる機会がなかった。昭和35年代に入ってから、合唱団の技術水準が高まり、合同演奏で取り上げられる機会も多くなり出して、組曲「富士山」もやっと動き出した。今にして思えば清水先生は、男声合唱の持つ「繊細さと力強さ」の両極の必要性を、私に教示されたのかもしれない。処女作「柳河風俗詩」に続く第二作目のこの「富士山」も、詩人草野心平先生の詩の偉大さに支えられて、愛唱されている。

多田氏によれば「富士山」の演奏には、「歌い手の声域を気にしない、曲のスケールの大きさ、ダイナミックさを表現するには、70名程度のメンバーが必要だ」と言われる、平均年齢67歳の私共にとっては肉体的かつ技術的に相当な困難さを伴う曲であるが、富士の雄大さと宇宙的感覚をどう表現できるか、若手のグリーOBを加え70数名で大曲に挑戦した。

(記：指揮者／徳永和彦)

### ●詩の背景

第二次大戦直前のころ、(富士山)をテーマとする草野心平の詩作は始まった。以来敗戦をはさんで約10年間に生み出された(富士山)の詩群がのちに編集され「作品第壹～作品第拾陸」という抽象美術の作品のタイトルを思わせるようなナンバリングが施された。初期にはその時代背景のゆえに(富士山=日本の象徴)的な描写もあるものの、戦後、「宇宙につながる永遠の存在」ともいいうべき普遍性をそなえた「大存在」へと(富士山)はせりあがつていった。

組曲に取り上げられた五つの詩のテーマをまとめてみよう。

- ①富士山麓の古代幻想。花や鳥や虫や動物と人間とが一体となった富士の祭典。
- ②明るい春、富士さえも少女たちの遊びに加わる。対照的な詩人の心の春愁。
- ③金の雲ひとひらを浮かべた黒富士に、神と対峙する(祈り)を見出す。
- ④富士山が地球の中心と真直ぐに繋がっていること。更に天との連続。
- ⑤あかるく輝く夕映えの富士に、目に見えぬ宇宙線の驟雨を想像する。

昭和63年を限りに草野心平は彼岸の人となってしまった。今なお心平詩のファンは多い。だが、現在数の上で彼の詩をもっとも享受しているのは、合唱曲の歌い手だと言っても言い過ぎではないだろう。しかも合唱団員は、発声を通して詩を体の悦びに昇華することが出来る。多田氏は「富士山」について「歌い手の声域を気にし過ぎない、スケールの大きいダイナミックな男声合唱を作った」と述べている。詩の持つ時空的ひろがりとあいまって、肉体的にやや困難さをともなう点がかえって、この組曲が男声合唱団のレパートリーとして人気を持ち続いている理由のように思われる。

(深澤 真二)

### 作品第壹

「富士山」一九四三年

草野心平 作詩

麓には桃や桜や杏さき。  
むらがる花花に蝶は舞ひ。  
億萬萬の蝶は舞ひ。  
七色の霞たなびく。

富士の祭典。  
夢みるわたくしの。

富士の祭典。

ぐるりいちめん花はさき。  
昔からの楽器のすべては鳴りだすのだ。

種ときのやうに鳥はあつまり。  
日本のすべての鳥はあつまり。

樂器といつしょに歌つてゐる。  
樂器といつしょに歌つてゐる。

夢みるわたくしの。

富士の祭典。

### 作品第拾陸

「富士山」一九四三年

鳴呼。

川面に春の光はまぶしく溢れ。そよ風が吹けば光たちの鬼ごっこ。  
葦の葉のささやき。行行子は鳴く。行行子の舌にも春のひかり。

自分の顔は両掌のなかに。  
ふりそぞぐ春の光りに却つて物憂く。

眺めてゐた。

少女たちはうまごやしの花を摘んでは巧みな手さばきで花環をつくる。それをなはにして縄跳びをする。花環が圓くとそのなかに富士がはひる。その度に富士は近づき。とほくに座る。とほくに座る。

耳には行子。頬にはひかり。

### 作品第拾捌

「天」一九五一年

原題『富士山』

まるで紅色の狼火のやうに。  
豊旗雲は満々と燃え。そのままに。  
その下に。

### 作品第貳拾壹

(宇宙線富士)  
「牡丹園」一九四八年

JASRAC 出1013440-001



## 作曲者からのメッセージ

1955年の秋、私が25歳の頃に、石丸寛先生(故人)指揮による西南学院グリークラブと福岡女学院の演奏を聴いた。西南学院グリークラブの見事なアンサンブルと福岡女学院の流麗なメロディーに深く感動した記憶が今も鮮明に残っている。

1993年と96年に、西南シャントゥールから新曲の委嘱があった。93年には男声合唱組曲「柳河風俗詩・第二」を、96年には男声合唱組曲「三崎のうた・第二」を作曲したが、いずれも西南シャントゥールの名初演により、爾後、多くの男声合唱団によって愛唱されてきた。

今年の夏、「西南シャントゥールは12月4日の定演で組曲・富士山を歌う。都合が良ければ、ご来聴頂きたい」とのご案内をいただいた。

(私事ながら) 今年80歳の私は、生来、虚弱体質の上、ここ数年怪我や加齢現象による体調不良に悩まされ、主治医から「長距離移動・長時間の観劇・指揮・講演等」を禁じられていた。尤も自室に籠っての作曲活動だけは許され、ここ4~5年の間に、17の男声合唱組曲を書いた。余命幾許もないと観じ、一作品ごとに「これが絶筆」と自分に言聞かせ、恩師・清水脩先生(故人)からの薰陶どおり、起承転結・喜怒哀楽・花鳥風月・春夏秋冬に満ちた日本近代詩に題材を求めて作曲していった結果、年の功か、今まで以上の枯淡と芳醇に満ちた作品が生まれた。

こんなことから、已むなく、演奏会への参上はご辞退申し上げた処、十数年ぶりに、西南シャントゥールから新曲の委嘱を賜った。前二回は、北原白秋先生の詩に作曲させて頂いたが、今回は中原中也先生の詩では、と、ご相談したところ、快諾を得た。現在、慎重に組曲としての構成を熟慮している。

さて、本日演奏頂く「富士山」は1956年に作曲した私の二番目の男声合唱組曲。1954年作の処女作「柳河風俗詩」についての清水先生の厳しい批評は「よく書けてはいるが、男声合唱曲は、もっと音域を一杯に使って、ダイナミックに書け」だった。

初演は京都大学男声合唱団で、私より3年後輩の学生指揮者の平野実氏(元・久留米大学学長)。当時としては難曲といわれた「富士山」の名初演をしてくれた。

爾後、我が国の男声合唱団の急速な演奏技術向上により、今では、合同ステージにはこの作品を愛唱して頂く機会が多い。

演奏会のご成功と、西南シャントゥール及び西南学院グリークラブの益々のご隆昌を心よりお祈り申し上げる。

## ● 作曲者 多田武彦 氏 略歴

1930年、大阪市生まれ。祖父や父は松竹の役員で、幼少の武彦氏は興行師にすべく歌舞伎・演劇・映画・浪曲などを鑑賞させた。中学生の時に敗戦を迎え、どっと移入されたアメリカ文化に触れてミュージカル映画の監督を志し和声学や作曲を独学。興行の不安定さを避け京大法学部に進み、大学でグリークラブの指揮者として活躍、富士銀行に就職。大阪高校時代に作曲を始め、京大在学当時、知遇を得た作曲家・清水脩氏に作曲上の指導助言を受けた。銀行員の傍ら「日曜作曲家としてア・カペラの男声合唱組曲を少しずつ書いていたらどうか」と勧められた。男声合唱曲を中心に多数の合唱曲を作曲、氏は「詩に寄り添うように」をモットーに作曲、「詩」がもつ韻律を引き出して、豊かな抒情性溢れるメロディーと和声に特色があり、優美な旋律と男声合唱特有の機能を最高度に活かした独特の世界を形づくっている。作品は、これまでに男声合唱70曲を超え、私共シャントゥールも氏に委嘱した作品、「思い出(柳河風俗詩・第二)」「東京景物詩・第二」を初演。

指揮／徳永和彦 *Tokunaga Kazuhiko*

福岡高等学校在学中合唱部に所属、指揮を担当。  
1961年西南学院大学商学部卒業。

在学中、西南学院グリークラブ創立40周年記念演奏会にて学生指揮を担当。  
1997年、西南シャントゥール委嘱作品・多田武彦作曲：男声合唱組曲「三崎のうた・第二」を初演。1996年より西南シャントゥール指揮者。

指揮／佐藤棟也 *Satoh Tohya*

福岡高等学校在学中合唱部に所属。

1970年西南学院大学文学部フランス語専攻卒業。  
在学中、西南学院グリークラブ創立50周年記念演奏会、東京・大阪記念演奏会にて学生指揮担当。創立50周年記念委嘱作品 清水脩作曲「木下夕爾の三つの歌」を初演。  
卒業後、石丸寛氏の東京フィルハーモニックソサイアティ他各合唱団で合唱活動。  
現在、福岡音楽団体連絡会副会長。2006年より西南シャントゥール指揮者。

指揮／高嶋裕二 *Takashima Yuhji*

西南学院高等学校グリークラブに所属。

1976年西南学院大学経済学部卒業。  
在学中は、2年間、学生指揮者を担当。卒業後は「混声合唱団トニカ」で4年間活動。  
2006年、西南シャントゥール入団。  
今年、西南シャントゥールの指揮者として初ステージに挑む。

ピアノ／植村和彦 *Uemura Kazuhiko*

福岡教育大学教育学部中等教育教員養成課程音楽専攻卒業。  
福岡教育大学大学院教育学研究科音楽教育専攻演奏学講座修了。  
片山由紀、倉員由紀子、福田ひろみ、福田伸光の各氏に師事。  
第43回・第45回・第47回北九州芸術祭にて伴奏賞受賞。

現在、福岡を中心として主に声楽や器楽とのアンサンブル、伴奏の分野で活動中。

西日本短期大学保育学科助教。

西南シャントゥールは1954年(昭和29年)4月、西南学院グリークラブ54期のOBらが中心となり結成された。以来、西南学院卒業者のみのメンバーで構成されており、西南OBの結束の堅さを継続している。シャントゥール(Chanteurs)という名称は、当時のアメリカ海軍の男声合唱団名の“*The Sea Chanters*”とフランスの男声合唱団名“*Companion de la Chanson*”を参考にし、結局フランス風に洒落て西南シャントゥール[Seinan Chanteurs]と命名された。

結成された当時は主に全日本合唱コンクールへの出場を目指し、3位入賞などの実績を残している。現在では、専ら年に一度の「定期演奏会」を活動の中心に置き、同時に又各地の合唱団とのジョイントコンサートやゲスト出演活動を続けている。現在全国的にみても、毎年定演を持つ貴重な一般男声合唱団として高く評価されている。

又、定期演奏会においては、委嘱作品の初演にも力を注ぎ注目されている。

多田武彦作曲：男声合唱組曲「柳河風俗詩・第二」・「三崎のうた・第二」

吉田悠作編曲：日本の歌による男声合唱のためのメドレー「海へ山へ」

男声合唱とハープのための「アイルランド民謡」

宇野正寛編曲：男声合唱曲「日本の歌メドレー」

大島ミチル作曲：男声合唱とピアノによる「生命の誕生」

「悲しい歌はきらいですか」(NHK「御宿かわせみ」主題歌男声合唱版)

第30回記念定期演奏会では、信長貴富氏に「時代～ニューミュージックと呼ばれた歌たち～」を編曲委嘱した。

(社)全日本合唱連盟・福岡県合唱連盟・福岡音楽団体連絡会 会員

1st Tenor	2nd Tenor	Baritone	Bass
乙藤 成美	刀根 亨一	本永 哲也	木道 昇
宮地 基次	的野 恒一	中辻 浩一	田中 義信
阿部 昌弘	福井 黙	和田 正義	靄 喜廣
高木 正志	徳永 弘道	鈴木 勸	松枝 保匡
中尾 武史	大石 宏	粟野 寿泰	平田大三郎
日高 良公	野辺 和馬	森山 剛	八尋 一雄
飛松 智明	波多江 忠	石川 和義	阪井 俊文
本山 和文	徳永 和彦	篠崎 詔二	蓮尾 勝右
宮城 研二	一柳 隆治	森 博彦	佐藤 忠芳
山元 一憲	黒江 量二	佐藤 棟也	夏秋 毅昭
坂部 雅夫	徳永 武雄	松尾 淳郎	武藤 新
倉地 進	石松 茂	里中 健	八尋 憲二
大司 真	平塚 郁男	小西 真二	角 正信
山口 聰	山本 武裕	中嶋 恒生	松尾 重治
杉本 哲也	高川 弘幸	高嶋 裕二	中垣 登
	窪田 敏博		宮地 純
	眞銅 敬介		

西南学院グリークラブ現役：第3ステージ出演

三澤 一勲	山崎竜太郎	綾部 匠馬	林田、宗大
	青木健太朗	田島 亘	池田 昌之
	鯉川弥寿良		

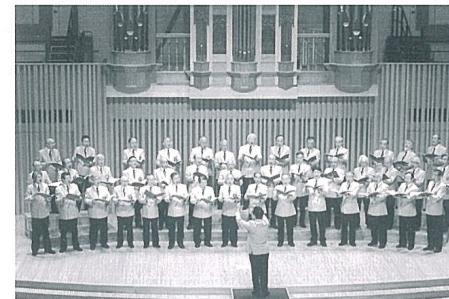
西南学院グリークラブOB：第4ステージ出演

西村 克俊	白土 典文	伊徳 諭	磯貝 豊
木下 俊彦	田中 穂積	保家 大司	福田 誠司
岡田 和夫	古瀬 哲也		岡 潔
渡辺 秀樹	宮崎 和善		杉岡 勝
村上 正道			佐野 直人
石丸 貴康			杉谷 大輔
野田 誠一			

予告

## 西南シャントゥール 第34回定期演奏会

2011年12月3日(土)・アクロス福岡シンフォニーホール



第1回オール西南演奏会(モーツアルト「レクイエム」)

## 《1年間の演奏活動》

2009. 11. 8 西南シャントゥール第32回定期演奏会  
12.23 福岡女学院「メサイア」コンサート
2010. 1. 9 新年会  
1.17 総会  
3.21 第1回オール西南演奏会(モーツアルト「レクイエム」)  
3.28 春色コンサート2010賛助出演  
3.19 西南学院大学卒業式  
4. 1 西南学院大学入学式  
4. 6 西南学院大学学生寮校歌指導(有志)  
5.15 西南学院創立94周年記念音楽会  
6.12 ソフトバンク・ホークス公式試合セレモニー国歌斉唱  
6.13 福岡県合唱連盟福岡支部合唱祭  
10.13 西南学院中学校スクールコンサート  
12. 4 西南シャントゥール第33回定期演奏会

- アクロス福岡シンフォニーホール  
アクロス福岡シンフォニーホール  
西南コミュニティ・プラザ  
西南コミュニティ・センター  
西南学院大学チャペル  
クリエイト篠栗  
西南学院大学体育館  
西南学院大学体育館  
西南学院大学学生寮  
西南学院大学チャペル  
福岡ヤフードーム  
大野城市まどかぴあ  
西南学院中高校チャペル  
アクロス福岡シンフォニーホール



西南学院中学校スクールコンサート

unicharm ユニ・チャーム(株)ペットケアカンパニー



### 犬種で選べる専用フード

体型や体格によって、ケアしてあけたいカラダの部分は違います。

愛犬元気ペストバランスは、素材本来のおいしさと

栄養バランスで、特定犬種の健康をサポート。

豊富な種類の素材のうまみをぎっしり詰めこんだので、

毎日の食事がもっと楽しくなります。

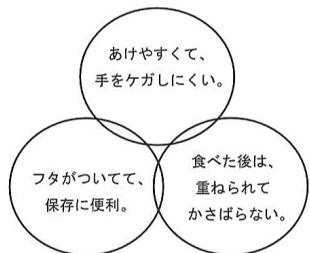


●商品に関するお問い合わせは、フリーダイヤル 0120-810-539 ユニ・チャーム(株)ペットケアカンパニー お客様相談室まで。ユニ・チャーム(株)ペットケアカンパニー <http://www.uc-petcare.co.jp>



アイシア株式会社

カップタイプの純缶できました。



MORIMITSU

### 株式会社森光商店

〒841-8611 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜9-7  
PHONE. 0942-85-1125(代) FAX. 0942-82-9780

Grain & Pet Care Communication

# 株式会社 山本文房堂

●本店／中央区大名2丁目4-32 〒810-0041 092(751)4342

●アートスクール／中央区大名2丁目4-32 〒810-0041 092(751)4342

\*通信販売を承ります。お気軽におたずねください。

URL <http://www.yamabum.com> E-mail [yamabum@anet.ne.jp](mailto:yamabum@anet.ne.jp)

# きどう動物病院

KIDOU SMALL ANIMAL HOSPITAL

獣医師 木道 寛・木道浩子



福岡市城南区田島5-4-18

TEL 092-862-1222



# 中垣不動産

福岡県知事(3) 第14016号  
〒818-0121 太宰府市青山3-27-2  
Tel:092-918-6487 Fax:092-918-6488  
<http://www.nakagaki-fudousan.com>  
E-mail:[nakagaki@bb.csf.ne.jp](mailto:nakagaki@bb.csf.ne.jp)

# Chinatown Variety

無料携帯メール会員で  
お得なクーポンをGET!

もっと、中華樂喜街。  
http://www.fuxinlou.jp

創業明治37年

中国菜館 福新樓 点心房 新界

ZHANG'S NOODLE & SOUP RICE  
張'S 麵粥店 百年甘栗

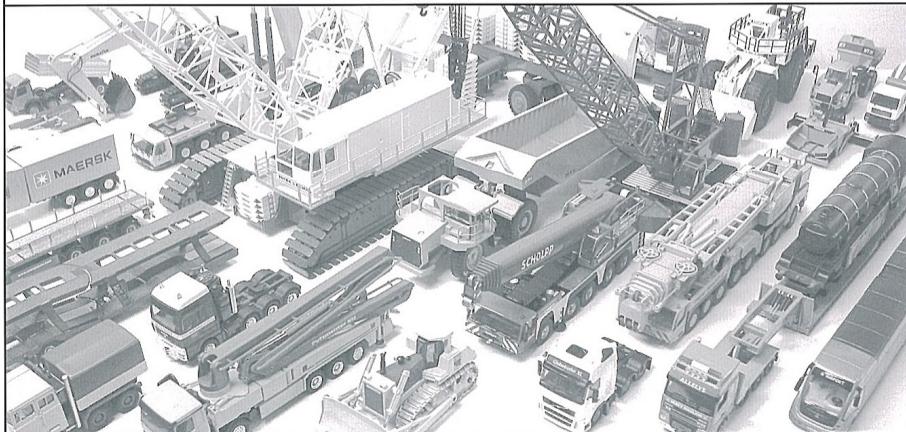
China Café

〒810-0001 福岡市中央区天神 2-3-33

TEL 092-771-3141(代)

お問い合わせ・ご予約は/  
フリーダイアル フクシンロウはオンライン  
0120-2946-01

ミニカー集めのきっかけに！ ミニカーにふれてみませんか



▼はたらく車のミニチュア・プラモデル 通信販売  
ショップです。  
トラック、建設機械から農業機械までいろいろ  
取り扱っています。

▼取扱商品3000種以上のはたらく車の画像が見ら  
れます。

インターネットからご注文頂けます。

<http://www.mt-factory.com>

インターネットをご利用頂けな  
い方には、新製品案内のチラシ  
を配布しております。  
郵便番号・ご住所・お名前と  
「ニュース希望」とお書き添え  
の上、下記住所まで  
80円切手（×お届け回数分）を  
お送りください。

**Model Truck  
Factory**

モデルトラック ファクトリー  
(有)武藤技建内  
TEL:092(918)5615・FAX:092(918)5610  
(日・木曜・祝日定休)

〒818-0059 福岡県筑紫野市塔原東3-13-1/メールアドレス info@mt-factory.com

・プログラム制作 / 中尾武史

・広告 / 的野恭一・木道 昇・武藤 新・中垣 登



*Since 1954 to 2010*